

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL：03-5253-8111 内線 42354  
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成27年4月14日

リコール届出番号	3554	リコール開始日	平成27年4月15日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 伊東 孝紳		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-086819	
不具合の部位（部品名）	緩衝装置（フロントピボットアーム）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	フロントフォークにおいて、ブッシュホルダ端部の面取り加工及びピボットアームブッシュの表面処理が不適切なため、ブッシュホルダとブッシュ間のグリースが流出すると、フロントピボットアームとブッシュ側面の摺動抵抗が大きくなるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、右側フロントピボットアームへ過大な応力が加わり折損し、最悪の場合、前輪ブレーキ操作時にフロントブレーキケーブルが引っ張られ、前輪がロックして転倒や走行不能となるおそれがある。			
改善措置の内容	全車両、フロントフォークを対策品に交換するとともに、フロントピボットアームを新品に交換する。なお、改善措置用部品の供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、全車両、フロントピボットアームを点検し、作動不良が確認されたものについては、フロントピボットアームを新品に交換し、ピボットアームブッシュにグリースを塗布する。それ以外については、ピボットアームブッシュにグリースを塗布する。			
不具合件数	4件	事故の有無	軽傷1件、物損1件	
発見の動機	市場からの情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、車台番号付近にNo.3554のステッカーを貼付する。</li> </ul>			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	JBH-TD02	「ジャイロX」	TD02-1100002～TD02-1107804 平成23年5月9日～平成25年10月25日	7,803	
			TD02-1180004～TD02-1180325 平成23年5月16日～平成25年8月28日	210	郵政専用車両
			TD02-1180104～TD02-1180345 平成24年1月19日～平成25年9月9日	132	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成23年5月9日～平成25年10月25日	(計8,145台)	

### 交換修理用部品として出荷したもの

対象の製品名	部品番号	対象部品の出荷期間	対象部品数	備考
フロントフォークセット	51110-GFY-630	平成23年10月11日～平成27年4月3日	3,932	「ジャイロX」 「ジャイロUP」
	51110-GFY-660			
	51110-GM6-316			
	51110-GG2-316			
ピボットアームブッシュ	51314-GFY-661	平成24年4月7日～平成27年4月2日	4,027	
	51314-GM6-000			
	51314-GG2-900			
合計			(計7,959個)	

交換修理用部品が組み付けられた車両は、同様の改善を実施する。

**【注意事項】**

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。